

令和8年度 第7回 部長会議記録（要旨）

開催日時：令和8年8月19日（水）15時00分から17時00分まで

開催場所：A203・204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、岡本総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、藤本福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、浅野産業経済部参事、小倉建設部長、馬場建設部参事、後藤危機管理部長、井田上下水道局長、福岡市立病院事務局長、佐々木会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、堤社会教育担当参事、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、櫻井企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・長野県知事選挙への事務従事者、選挙管理委員会職員にお礼申し上げる。市の投票率が40%を下回ったのは残念だが、選挙事務を無事に終えることができた。
- ・熊本地震の災害対応支援として飯田市からも職員を派遣している。飯田市立病院の医師、検査技師を8月上旬に派遣した。現在は2名の職員をチームながのの枠組で宇城市へ派遣している。長期化により今後も職員を派遣する可能性があるため、その際はよろしく願います。
- ・8月30日には地震総合防災訓練を行う。これまで真剣に取り組んできたが、熊本地震の直後でもあるため、いつも以上に自分事として取り組むこと。庁内グループウェアで共有した資料も参考としながら、BCPについても確認すること。
- ・平時業務についても同様にBPRの取組を進めることが必要である。各職場から人員要求がある一方で、厳しい言い方になってしまうが職員数はこれ以上増やせないという前提で、仕事の見直しを全庁的にやる必要がある。
- ・代表監査委員から、監査資料が直前になって差し替えたものが多く、結果としてその他の資料も含めて全体の信頼性に疑義が出てくるとの指摘があった。重く受け止めること。

<副市長>

- ・監査委員の指摘は大変厳しいものである。システムや資料の作り方変更と重なった影響もあるのかもしれないが、提出前にしっかりチェックをすること。直前の差し替えだけでなく、説明時に訂正することが無いように、部課長が取り組むこと。
- ・市議会産業建設委員会協議会で水道料金改定について報告した。どのような手続や議論を踏んできたかが議会、市民にしっかり伝わって議論されるよう準備していく必要がある。

<教育長>

- ・高校生講座カンボジアスタディツアーは今回10回目となり、私もカンボジア現地研修に同行した。ポル・ポト政権による知識人弾圧等からの復興には日本人も深く関わっている。アンコールワットのお土産として著名なアンコールクッキーは日本人が創業したが、これは現地の若い人たちが自立して生きていくために働く場所を創ろうとしたもので、今は現地の方に会社を引き継いだとのこと。また、児童養護施設スナードイ・クマエを経営しているメアス博子さん、伝統のクメール織技法を復興させた森本喜久男さんと引き継いだ岩本みどりさんなどが活躍されている。こうした活動に触れることで、高校生にとって学びの機会になった。

2 報告事項

- (1) 令和8年飯田市議会第3回定例会の付議案件について

◇趣旨

令和8年飯田市議会第3回定例会の付議案件について報告する。

(2) 令和8年度一般会計補正予算（第3号）について

◇趣旨

- ・令和8年度一般会計補正予算（第3号）について報告する。

(3) 9月1日飯田市議会全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・9月1日飯田市議会全員協議会報告事項について報告する。

◇意見

（議会事務局長）

- ・熊本地震に係る黙とうを開会前に行う。

(4) 飯田市議会第3回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会第3回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

4 連絡事項

(1) 今後の補正予算編成等に関する留意事項について（総務部）

(2) 答弁整理票の修正方法の変更（校閲機能の試行運用）について（企画部）

5 人口減少の市民生活への影響に関する意見交換

6 閉会